

政策体系コード	02 - 01 - 03
施策名	学校・家庭・地域が連携した教育の充実

部 等 名	教育部
-------	-----

◆総合計画での位置づけ

政 策	生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり
基本施策	学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上
施 策	学校・家庭・地域が連携した教育の充実

◆総合計画基本計画における施策の方針

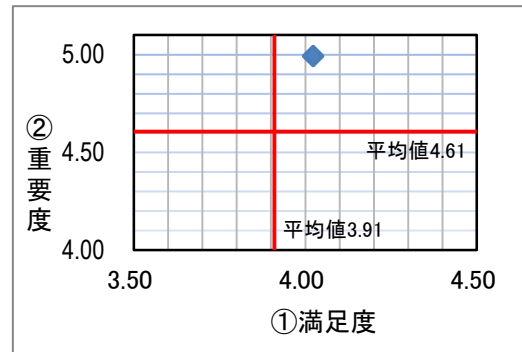
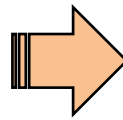
地域の歴史、文化、産業、自然及び人材等の教育資源を学校教育に活用する取組みなど、地域に開かれた学校づくりを推進し、学校・家庭・地域が連携した教育の充実を図ります。

◆市民意識調査結果（H24年度実施）基本施策単位のアンケート

設問：「学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上」についてうかがいます。

「知・徳・体を育む」「児童生徒への支援」「学校・家庭・地域が連携した教育の充実」「教育環境の整備」に取り組んでいます。
【事業例】
 ・教育相談員設置事業／問題行動、適応指導、幼児ことばの教室について相談員を設置 …「児童生徒への支援」関係
 ・奨学金貸与事業／経済的な理由により就学が困難な人に奨学金を貸与 …「児童生徒への支援」関係
 ・教育用コンピュータ整備事業／小中学校のパソコン教室にパソコンを整備 …「教育環境の整備」関係

調査項目	算出値	順位
①満足度	4.02	6 / 29
②重要度	4.99	3 / 29
③優先度	18.03	5 / 29
④改善需要度	0.97	6 / 29



上記調査の満足度に関する主な理由（自由記述）

学校教育環境を整備・充実してほしい(10人)
教育への取り組みが良い(6人)
奨学金制度を充実してほしい(4人)
公共交通機関を使った通学に助成してほしい(3人)
学童保育を充実してほしい(1人)

◆施策の成果達成状況

No.	指 標 名	指標に関する説明 (把握方法・算定式・単位等)	指標の実績値			目標値(下段:達成率)	
			H20 (基準年度)	H23	H24	中間目標 (H25)	最終目標 (H27)
1	学校図書館ボランティアの人数	学校への照会による集計	254人	230人	218人	270人 △225%	280人 △138%
2	小学校におけるスクールガードの人数	学校への照会による集計	887人	481人	499人	950人 △615%	1,000人 △343%
3	小中学生向けものづくり人材育成事業受講者数	これまでの推移程度の増加を目指す	1,135人	1,047人	946人	1,200人 △291%	1,250人 △164%
4	放課後子ども教室のボランティア人数	・放課後子ども教室推進事業における効果指標 ・実施した3地区のコーディネータ、安全管理員、学習アドバイザーの人数を合計	100人	60人	56人	100人 56.0%	100人 56.0%

5	児童の学校図書 平均年間貸出数	学校図書館運営状況報告書(市調査)による数 値で、これまで目標値の設定はしていない	40.3冊	54.7冊	59.8冊		
6	家庭学習時間平 日1時間以上の割 合(6年生)	・北上市教育振興基本計画(H23~32)にお ける成果指標 ・学校への照会による集計	57% (H21)	震災によ り未調査	68.6%	62.0% (H29)	67.0% (H32)
						232.0%	116.0%

※印の指標は総合計画(基本計画)に記載していないもの。

◆成果達成状況の分析

単年度の 達成状況	1.順調
	2.概ね順調
	● 3.遅れている
最終年度 の達成見 込み	1.順調
	2.概ね順調
	3.やや遅れている
	● 4.遅れている

◆コストの把握

(単位:千円)

種 類	H22	H23	H24
投入 コスト			
直接事業費(a)	8,060	8,612	10,529
人件費(b)	9,244	6,975	8,733
公債費・減価償却費等(c)			
フルコスト(a+b+c)	17,304	15,587	19,262
うち「業務」事業費			
うち「政策」事業費	17,304	15,587	19,262

◆成果達成状況の要因考察

外部環境(市を取り巻く環境の要因: 市民ニーズ、社会経済情勢等の視点)	内部要因(施策実施過程の要因: 財務、職員、組織等の視点)
<p>①図書ボランティアは、保護者が主な構成員となっているが、共働き世帯が多く、ボランティアの確保が難しい。</p> <p>②地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業のスクールガードは、事業の立上げ当初は、老人クラブや地区公民館等の団体がボランティアとして積極的に登録したが、実際に活動する人が登録するという形で数が減少してきている。</p> <p>③小中学生向けものづくり人材育成事業としての子ども創造塾事業の「いきいきゲーム」は、学校の実施希望時期に、講師・サポーター(ボランティア)の都合が合わず、実施できない学校があった。</p> <p>④放課後子ども教室は、地域のボランティアの確保に苦労しており、実施回数に限られた。</p> <p>⑤23年度に放課後子ども教室を実施していた岩崎地区(参加528人)は24年度から自治協議会の主催事業となった。</p>	<p>①図書ボランティア制度は、当市の先導的取組みとして県内他団体に先駆けて実施してきたが、開始時に比べ、学校側のボランティア募集の取組みが少なくなっている。一方、PTA総会などの機会あるごとに、頻りに募集を行った結果、増加した学校がある。</p> <p>②学校が教科指導と関連させた図書館活用などの取組みを行い、学校図書年間平均貸出数の増加につながった。この取組みにおいて、教職員が多忙化しているなか、図書の点検・整理などの図書ボランティアの活動は欠かせないものとなっている。</p> <p>③学校行事の過密化で日程調整がつかず、子ども創造塾事業「いきいきゲーム」の実施を見送った学校があった。</p> <p>④小中学校が協力して中学校区単位に設けた学力向上委員会が、家庭学習強化週間やノーテレビ・ゲーム運動を設定し、これを家庭に呼びかけ、連携して取り組んだことで家庭学習時間の増加につながった。</p> <p>⑤景観学習や農業体験など、地域ボランティアによる学校支援活動があるが、市総合計画において他施策の事業に位置付けていることから、本施策における成果については未検証となっている。</p>

◆現在の課題及び改善を要する事項

<p>①学校支援活動のほか、青少年健全育成や生涯学習事業など、様々な分野で子どもに関わる取組みが行われているが、活動に関わる大人が一部のみに限られている。</p> <p>②また、様々な分野に関して、市内各地で子育てに関する特色を持った取組みがされているものの、全体として系統だった整理や位置づけが明確になっていない。</p>
--

◆今後の方針(施策展開、事務事業の見直し等)

<p>①地域に開かれた学校づくりを推進し、学校・家庭・地域が連携した教育の充実には、学校・家庭・地域が一体となった地域ぐるみの体制を整える必要があり、このことは、地域住民が自らの学習成果を生かす場を広げ、地域の教育力向上にもつながる。このことから、市の重要課題に位置付けて平成24年度から取り組んでいる「地域の教育力向上」において、次の視点を持ってガイドラインの策定を行い、これに従い事業展開をしていく。</p> <p>ア 目的、目標、組織体制</p> <p>イ 地域の宝である子どもを育てることに積極的に関われる具体的方策</p> <p>ウ 地域の人々の意識啓発</p> <p>エ 子ども、学校を支援するボランティア活動の推進</p> <p>オ 学校、家庭、地域、行政の役割分担</p> <p>②地域教育力向上に関する取組みの学校・家庭・地域の各団体の実践発表・交流の場としてフォーラムを開催し、各取組みの相互認識や活動の目指すところを確認しあう機会とする。また、実践者・関係者の情報共有の場とすることで、地域教育力向上の市内全域への広がり機会とする。</p>

◆施策構成事務事業

事務事業名称 (評価事業)	会計 区分	事業 区分	担当課	事業費 (千円)	事後評 価結果	貢献度
学校図書館図書整理指導員設置	一般	政策	学校教育課	1,832		中
小中学校文化活動等共催支援事業	一般	政策	学校教育課	1,032		中
地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	一般	政策	学校教育課	954		高
放課後子ども教室推進事業	一般	政策	生涯学習文化課	3,348		高
大学等高等教育推進事務	一般	政策	政策企画課	0		低
全国大会等出場補助金	一般	政策	教委・総務課	8,124		中
子ども創造塾事業(他施策の構成事業)	一般	政策	工業振興課	3,972		—
合 計				19,262	(千円)	

※事後評価は、「政策」系事業のうちソフト事業(補助金・負担金含む)に限定して実施。その他は任意で評価したもの。
 ※貢献度は、施策を構成する「政策」系事業の中で相対評価したもの。

◆施策を実現するために事務事業が適切に構成されているか/見直すべきものはないか

本施策の構成事務事業だけでは、施策目的達成には不足しているが、他施策に掲げる事業において、学校と家庭・地域との連携による教育活動に資する事業が存在している。

内部評価(事務事業)シート

評価対象: 平成 24 年度事業

担当部課等名	部課係名	教育委員会学校教育課				
1. 基本的情報						
事務事業名	学校図書館整理指導員設置				評価事業コード	400200 - 011 - 00
会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	<input type="checkbox"/> 水道事業会計	<input type="checkbox"/> 下水道事業会計		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続→実施年に	<input checked="" type="checkbox"/> H24	<input checked="" type="checkbox"/> H23	<input checked="" type="checkbox"/> H22	<input checked="" type="checkbox"/> H21 <input checked="" type="checkbox"/> H20以前
総合計画での位置づけ(政策体系)	政策	2	章	生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	基本施策	1	節	学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上		
	施策	3	項	学校・家庭・地域が連携した教育の充実		
事務事業の分類	類型番号	5	事業類型	ソフト事業(任意)		政策・業務 政策
法令の根拠区分	法律に特に定めのないもの					
法令等の名称						
関連計画	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	(名称)				
事業の目的と概要	学校図書館の利用拡大と読書活動の推進。 学校図書館に対する図書整理、読書活動等への指導、助言。					

2. 細事業の活動実績情報		
細事業コード		
1	細事業名称	学校図書館整理指導員設置
	事業の対象	小・中学校
	平成24年度事業計画	①学校図書館訪問指導 ②学校図書館運営状況調査 ③学校図書館だよりの作成
	平成24年度事業量実績	学校図書館訪問指導全26校(随時) 学校図書館だより隔週金曜日発行
2	細事業名称	
	事業の対象	
	平成24年度事業計画	
	平成24年度事業量実績	

3. 投入コストの整理						単位 金額:千円
	過年度実績			実績	計画	備考
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	
直接事業費	1,699	1,627	1,627	1,596		
人件費	412	409	324	236		
その他(公債費・減価償却費等)						
フルコスト	2,111	2,036	1,951	1,832	0	

4. 評価指標の状況						
指標コード	指標名	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	指標の説明
①	指導学校数	27	27	27	26	市内全小・中学校を巡回し、蔵書点検等の指導を実施した。
②						
③						
④						

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)				
目標達成状況	成果目標	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調	<input type="checkbox"/> 遅れている
	達成状況の分析	継続的な訪問指導により、図書ボランティアとの連携指導、図書ボランティアへの活動支援、館内整備、蔵書点検、図書の修理、読書活動の促進、読書環境等の整備が図られ、児童生徒の図書館図書の利用冊数の増加に繋がっている。		
	問題点・課題等	図書ボランティアは、保護者が主な構成員となっているが、共働き世帯が多く、ボランティアの確保が難しい状況にあり、また、教職員の多忙化により学校においてボランティアの育成を図ることも難しい状況になっている。		
直接的な受益者の範囲	<input type="checkbox"/> 不特定多数に及ぶ	<input checked="" type="checkbox"/> 特定されるが多数に及ぶ	<input type="checkbox"/> 特定少数に限定される	
事業廃止の影響	<input type="checkbox"/> 不利益やリスクが大きい	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度の不利益やリスク	<input type="checkbox"/> 不利益やリスクは小さい	
国・県・民間との競合関係の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし	<input type="checkbox"/> 類似事業あり。競合なし	<input type="checkbox"/> 類似事業あり。競合あり	
事業へのニーズの変化	<input type="checkbox"/> ニーズが高まっている	<input checked="" type="checkbox"/> ニーズは変わらない	<input type="checkbox"/> ニーズ低下または合致せず	
施策の改善需要度(市民意識調査)	<input checked="" type="checkbox"/> 改善需要度が高い	<input type="checkbox"/> 改善需要度が中程度	<input type="checkbox"/> 改善需要度が低い	
施策の優先度(市民意識調査)	<input checked="" type="checkbox"/> 優先度が高い	<input type="checkbox"/> 優先度が中程度	<input type="checkbox"/> 優先度が低い	
他市町村に比較しての優位性	<input checked="" type="checkbox"/> 先進的またはユニーク	<input type="checkbox"/> 他自治体と同程度	<input type="checkbox"/> 遅れている	
実施主体の代替性	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託等の拡充困難	<input type="checkbox"/> 拡充は十分可能	<input type="checkbox"/> 全部委託等可能	
経済性・効率性の向上	<input type="checkbox"/> 効率性等の向上困難	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性等の向上可能	<input type="checkbox"/> 大幅な向上が可能	

■今後の方向性		
<input type="checkbox"/> I. 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> II. 継続	<input type="checkbox"/> III. 縮小・要改善
<input type="checkbox"/> IV. 民間活用・協働事業化	<input type="checkbox"/> V. 廃止・休止	<input type="checkbox"/> VI. 完了

補足説明
PTA総会等において、保護者に対しボランティアの募集を行い、積極的な参加を呼びかけていく。

内部評価(事務事業)シート

評価対象: 平成 24 年度事業

担当部課等名	部課係名	教育委員会学校教育課				
1. 基本的情報						
事務事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業			評価事業コード	400200 - 077 - 00	
会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	<input type="checkbox"/> 水道事業会計	<input type="checkbox"/> 下水道事業会計		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続→実施年に	<input checked="" type="checkbox"/> H24	<input checked="" type="checkbox"/> H23	<input checked="" type="checkbox"/> H22	<input checked="" type="checkbox"/> H21
総合計画での位置づけ(政策体系)	政策	2	章	生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	基本施策	1	節	学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上		
	施策	3	項	学校・家庭・地域が連携した教育の充実		
事務事業の分類	類型番号	5	事業類型	ソフト事業(任意)	政策・業務	政策
法令の根拠区分	法律に特に定めのないもの					
法令等の名称						
関連計画	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし	(名称)			
事業の目的と概要	学校の管理下における事件・事故が大きな問題となっている状況を踏まえ、子供たちが安心して教育を受けられるよう、学校の安全管理に関する取り組みを一層充実させるため。 スクールガード養成講習会及びスクールガード・リーダーによる学校の巡回指導等を実施し、安全体制を確保する。					

2. 細事業の活動実績情報		
細事業コード		
1	細事業名称	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業
	事業の対象	市内小学校児童及び教職員
	平成24年度事業計画	①スクールガード養成講習会の開催 ②スクールガードリーダーによる小学校巡回指導
	平成24年度事業量実績	各小学校でスクールガードリーダーが実地講習開催や巡回指導の実施
2	細事業名称	
	事業の対象	
	平成24年度事業計画	
	平成24年度事業量実績	

3. 投入コストの整理						単位 金額:千円
	過年度実績			実績	計画	備考
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	
直接事業費	990	987	958	954		
人件費						
その他(公債費・減価償却費等)						
フルコスト	990	987	958	954	0	

4. 評価指標の状況						
指標コード	指標名	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	指標の説明
①	スクールガード養成講習会の開催	1	1	1	1	計画どおり実施
②	スクールガード・リーダーによる小学校の巡回指導	18校	18校	18校	17校	計画どおり全小学校で実施
③						
④						

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)				
目標達成状況	成果目標	<input type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> 概ね順調	<input checked="" type="checkbox"/> 遅れている
	達成状況の分析	事業の立ち上げ当初は、老人クラブや地区公民館等の団体が積極的にスクールガードに登録したため数が多かったが、事業が進展するにしがたい実際に活動できる個人が登録するようになってきたため、数が減少してきている。		
	問題点・課題等	登下校中の犯罪防止の観点から、街ぐるみで幼い児童を守らなければならないという意識が高まっているものの、スクールガードを行うボランティアの確保に苦慮している。		
直接的な受益者の範囲	<input type="checkbox"/> 不特定多数に及ぶ	<input checked="" type="checkbox"/> 特定されるが多数に及ぶ	<input type="checkbox"/> 特定少数に限定される	
事業廃止の影響	<input checked="" type="checkbox"/> 不利益やリスクが大きい	<input type="checkbox"/> ある程度の不利益やリスク	<input type="checkbox"/> 不利益やリスクは小さい	
国・県・民間との競合関係の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし	<input type="checkbox"/> 類似事業あり。競合なし	<input type="checkbox"/> 類似事業あり。競合あり	
事業へのニーズの変化	<input checked="" type="checkbox"/> ニーズが高まっている	<input type="checkbox"/> ニーズは変わらない	<input type="checkbox"/> ニーズ低下または合致せず	
施策の改善需要度(市民意識調査)	<input checked="" type="checkbox"/> 改善需要度が高い	<input type="checkbox"/> 改善需要度が中程度	<input type="checkbox"/> 改善需要度が低い	
施策の優先度(市民意識調査)	<input checked="" type="checkbox"/> 優先度が高い	<input type="checkbox"/> 優先度が中程度	<input type="checkbox"/> 優先度が低い	
他市町村に比較しての優位性	<input type="checkbox"/> 先進的またはユニーク	<input checked="" type="checkbox"/> 他自治体と同程度	<input type="checkbox"/> 遅れている	
実施主体の代替性	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託等の拡充困難	<input type="checkbox"/> 拡充は十分可能	<input type="checkbox"/> 全部委託等可能	
経済性・効率性の向上	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性等の向上困難	<input type="checkbox"/> 効率性等の向上可能	<input type="checkbox"/> 大幅な向上が可能	

■今後の方向性		
<input type="checkbox"/> I. 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> II. 継続	<input type="checkbox"/> III. 縮小・要改善
<input type="checkbox"/> IV. 民間活用・協働事業化	<input type="checkbox"/> V. 廃止・休止	<input type="checkbox"/> VI. 完了

補足説明
各学校で保護者や地域に対してスクールガードの募集を行い、積極的に参加を呼びかけていく。 毎年開催しているスクールガード講習会の参加対象者をスクールガード以外の一般市民にも拡大していく。

内部評価(事務事業)シート

評価対象: 平成 24 年度事業

担当部課等名	部課係名	教育委員会生涯学習文化課				
1. 基本的情報						
事務事業名	放課後子ども教室推進事業				評価事業コード	400300 - 111 - 00
会計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計		<input type="checkbox"/> 水道事業会計		<input type="checkbox"/> 下水道事業会計
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 継続→実施年に	<input checked="" type="checkbox"/> H24	<input checked="" type="checkbox"/> H23	<input checked="" type="checkbox"/> H22	<input checked="" type="checkbox"/> H21 <input checked="" type="checkbox"/> H20以前
総合計画での位置づけ(政策体系)	政策	2	章	生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	基本施策	1	節	学校教育の充実・家庭や地域の教育力の向上		
	施策	3	項	学校・家庭・地域が連携した教育の充実		
事務事業の分類	類型番号	5	事業類型	ソフト事業(任意)		政策・業務 政策
法令の根拠区分	法律に定めはあるが任意の自治事務					
法令等の名称	社会教育法第5条13					
関連計画	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	(名称) 北上市放課後子どもプラン(事業計画)				
事業の目的と概要	放課後の児童を地域の大人が見守る安全安心な居場所をつくり、意欲のある児童に対してはさらに学びの場や体験の場を提供する。 費用は国・県・市で1/3ずつ負担し(24年度は国10/10)、学童保育所の目的を補完するため、平日は小学校の余裕教室や体育館で地域のボランティアが見守る中、自由に遊ばせたりや勉強を教えたりする。土日は小学校の外に出て、体験的な活動を行う。					

2. 細事業の活動実績情報		
細事業コード		
1	細事業名称	放課後子ども教室推進事業
	事業の対象	市内の小学生
	平成24年度事業計画	放課後児童の居場所づくり、学びや体験の場の提供 24年度は、3小学校区(黒沢尻西、飯豊、黒岩)で実施
	平成24年度事業量実績	3小学校区 実施日数168日 子ども参加人数延べ3,459人
2	細事業名称	
	事業の対象	
	平成24年度事業計画	
	平成24年度事業量実績	

3. 投入コストの整理						単位 金額:千円
	過年度実績			実績	計画	備考
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	
直接事業費	1,619	1,560	1,438	1,381		24年度の決算額 <内訳> 県支出: 1,350千円 市支出: 15千円
人件費	7,239	5,727	3,569	1,967		
その他(公債費・減価償却費等)						
フルコスト	8,858	7,287	5,007	3,348	0	

4. 評価指標の状況						
指標コード	指標名	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	指標の説明
①	児童の参加延べ人数	5,233人	5,549人	4,269人	3,459人	3地区の参加児童延べ人数を合計したもの
②	ボランティアの人数	92人	104人	60人	56人	3地区のコーディネーター、安全管理員、学習アドバイザーの人数を合計したもの(謝金あり)
③	活動日数	225日	219日	190日	168日	3地区の活動日数を合計したもの
④	参加児童1人あたりコスト	1,692円	1,312円	1,172円	394円	フルコスト÷児童の参加延べ人数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)				
目標達成状況	成果目標	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調	<input type="checkbox"/> 遅れている
	達成状況の分析	24年度から3地区で実施することとなったが、ボランティアの人数は4地区で実施していた前年度と大きく変わっていない。地域の様々な経験を積んだ大人たちに見守られながら、放課後及び土日を子どもたちは過ごしている。		
	問題点・課題等	地域ボランティアの人員確保(25年度から安全管理員及び学習アドバイザーの謝金ゼロ)		
直接的な受益者の範囲	<input type="checkbox"/> 不特定多数に及ぶ	<input checked="" type="checkbox"/> 特定されるが多数に及ぶ	<input type="checkbox"/> 特定少数に限定される	
事業廃止の影響	<input type="checkbox"/> 不利益やリスクが大きい	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度の不利益やリスク	<input type="checkbox"/> 不利益やリスクは小さい	
国・県・民間との競合関係の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事業なし	<input type="checkbox"/> 類似事業あり。競合なし	<input type="checkbox"/> 類似事業あり。競合あり	
事業へのニーズの変化	<input type="checkbox"/> ニーズが高まっている	<input checked="" type="checkbox"/> ニーズは変わらない	<input type="checkbox"/> ニーズ低下または合致せず	
施策の改善需要度(市民意識調査)	<input checked="" type="checkbox"/> 改善需要度が高い	<input type="checkbox"/> 改善需要度が中程度	<input type="checkbox"/> 改善需要度が低い	
施策の優先度(市民意識調査)	<input checked="" type="checkbox"/> 優先度が高い	<input type="checkbox"/> 優先度が中程度	<input type="checkbox"/> 優先度が低い	
他市町村に比較しての優位性	<input type="checkbox"/> 先進的またはユニーク	<input checked="" type="checkbox"/> 他自治体と同程度	<input type="checkbox"/> 遅れている	
実施主体の代替性	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託等の拡充困難	<input type="checkbox"/> 拡充は十分可能	<input type="checkbox"/> 全部委託等可能	
経済性・効率性の向上	<input checked="" type="checkbox"/> 効率性等の向上困難	<input type="checkbox"/> 効率性等の向上可能	<input type="checkbox"/> 大幅な向上が可能	

■今後の方向性		
<input type="checkbox"/> I. 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> II. 継続	<input type="checkbox"/> III. 縮小・要改善
<input type="checkbox"/> IV. 民間活用・協働事業化	<input type="checkbox"/> V. 廃止・休止	<input type="checkbox"/> VI. 完了

補足説明
25年度は地域教育力向上推進事業として実施する